



主題：「響き合い、ともに歩む」 “Walk Together, Echoing Each Other”



大阪・中之島バラ園

— ころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでいく —
— Promote the Y's movement thoughtfully and hand down the Y's spirit —

5・6月の残る2ヶ月は今期におけるワイズ活動の整理と申し送りに時間を割くときです。もちろん、その時々課題への即時対応も求められますが、単年度制下でワイズ活動の理念をしっかりと継続してゆく上では、整理と引継ぎが大事であると考えます。現在、来期への引継ぎ業務としては、BF代表受け入れ業務、デンマークからの西日本区クラブ例会訪問のお世話などがあります。

今期、岩国みなみクラブと東日本区もりおかクラブのDBC締結に続けて、4月5日、京都トップスクラブが、その20周年記念例会に先立ち、東日本区の沼津クラブとのDBC締結式を持たれました。若いメンバーが数多くを占める京都トップスクラブとベテランメンバーが多い沼津クラブとのDBC締結は互いを力づける好ましい組み合わせの例になると予想され、今後が楽しみです。

4月11日(土)～12日(日)、ホテル・クライトン新大阪で西日本区第3回役員会を開催し、4件の議案審議のうちの1件、国際新事業「STEP For All」はどの事業部門が担当するか審議では、事業名称の一部に国際・交流事業がかかわる「STEP」の文字があるものの、実質はTOF事業の発展にかかわる新事業であるので、担当は地域奉仕・環境事業主任とし、国際からの募集案内があれば地域奉仕・環境事業主任から広報し進めることとしました。そして、4件の協議案のうちの1件の協議では、為替レートの変動が激しい中で国際献金EF(エンダウメントファンド)においてこのレート変動にどのように対応するかについていろいろな意見が出され、提案者から、これらの意見を踏まえ、事業委員会で改めて検討したいとの意思表示があり、これを了としました。

「東山荘 100 年募金」ご協力のお願い



日本 YMCA 同盟の国際青少年センター「東山荘」は、今年、創立 100 周年を迎えます。東山荘は学生 YMCA の夏季学校常設施設としてスタートし、青少年育成を始めとする様々な YMCA 活動の拠点として用いられ、日本における YMCA 運動の心の故郷とも称されています。とりわけ、東日本大震災を起点として、被災地からの被災者受け入れ、被災ファミリーや現地で活動するボランティアスタッフに対する心のケアプログラムやキャンプを通じて、東山荘が全ての年代の人々に心の癒しと安心を取り戻し、活力を持ってそれぞれの場に戻って行くための安心安全の場であることの意味がより一層強まっているとのことであります。

東山荘創立 100 周年を迎えるにあたり、野外教育ゾーンの整備、施設改修等を目的として 2009 年に募金が始まり、ネイチャーセンター、バーベキュー場等が完成されましたが、今般、新本館の建設を主たる目的として第 2 次募金「東山荘 100 年募金」が開始されました。新本館建設は、老朽化した本館を耐震性能にも優れたより機能的なものに建て替え、利用者に安心、快適に使っていただくとともに、魅力ある施設によって、利用者を増やして行こうというものです。今年秋に着工し、2017 年 3 月頃に完成の予定です。詳しくは、3 月 19 日付けで各部長・各クラブ会長宛に送付しました日本 YMCA 同盟からの依頼状、募金パンフレットをご参照ください。

西日本区の各部・各クラブにおかれましては、そしてメンバーの皆さまにおかれましても、東山荘 100 年募金にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

西日本区理事 松本 武彦





5月の強調月間 Leader Training

ワイズメンズクラブの未来のために、クラブ・部・区での研修だけでなく、個人のスキルアップのため自己研鑽に励みましょう。

スキルアップするには、人と出会い親睦を図る、例会を企画・運営する、スピーチをする、時間を守る、報告書を書く、奉仕活動をする、国際に目を向ける、等色々な方法があります。特にワイズメンは、世俗の論理（社会における地位、立場等）に関わることなく、全員が一メンバーとして役割を与えられ、色々な経験を積むことができます。ご自分の力を発揮し、新しいことにトライし、能力や人格を磨いてください。

ワイズリーダーシップ開発委員長 藤井久子（神戸学園都市クラブ）

今月の聖句

「闇から光が輝き出よ」と命じられた神は、わたしたちの心の内に輝いて、イエス・キリストの御顔に輝く神の栄光を悟る光を与えてくださいました。ところで、わたしたちは、このような宝を土の器に納めています。この並外れて偉大な力が神のものであって、わたしたちから出たものでないことが明らかになるために。わたしたちは、四方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、虐げられても見捨てられず、打ち倒されても滅ぼされない。

（コリントの信徒への手紙 4章 6、7節）

聖句黙想

キリストの復活、永遠の命とは何かを語る使徒パウロの言葉です。パウロの中にキリストが生き始めた時に大転換が起こり、大きな解放と新しい自己理解が生まれました。

50年前、社会学の講義中に先生が「恋人は万物の尺度である」と言いました。話の前後関係は何も覚えていませんが「あの人ならどう思うだろう」と絶えず思う気持ちは分りました。

共に生きる、という事を考える度にあの教室を思い出します。心のうちにキリストを宿す時、「外なる人」は衰えても、わたしたちの「内なる人」は日々新たにされる、とパウロの手紙は続きます。

西日本区チャプレン 江見 淑子

◇ 周年記念例会情報（2015年1月30日現在）

- ・ 京都エイブル 25周年 2015年5月16日(土) 京都ホテルオークラ
- ・ 岡山 50周年 2015年5月23日(土) 岡山国際交流センター（13:00-17:00）

◇ 第18回東日本区大会 ◇



開催 2015年6月6日～7日
 会場 厚木市文化会館・レンブラントホテル厚木
 ホストクラブ 厚木クラブ
 協力クラブ 東京クラブ 東京まちだクラブ 東京コスモスクラブ
 横浜とつかクラブ
 協働 厚木YMCA
 共催 厚木市・厚木市教育委員会

詳細はホームページ <http://atsugiys-conv18th.jimdo.com/> をご覧ください。

国際からのお知らせ

【国際会長通信第2号の抜粋日文訳】

国際会長通信第2号は3月28日付けで各クラブメール委員にお送りしていますが、その抜粋日文訳を以下に掲載します。パラシカル国際会長は、理事通信第2号の5頁において、ワイズメンズクラブ国際協会が掲げている「ビジョン2022年」と題してのワイズメンクラブの理想像と「2022年に向けて」の具体的な目標とを強調するべく、以下の文章を改めて掲げておられますので、その文章に日文訳をつけて以下に掲載します。

VISION 2022

“To be a recognized, globally oriented, voluntary service organization with a strong and committed membership that strives to enhance human values, with special focus on youth development, while upholding our motto “To acknowledge the Duty that Accompanies every Right” and working in active service and close partnership with the YMCA, the United Nations and other worthy organizations to build a better world in which to live”

ビジョン 2022 年

私たちが生きる、より良い世界を築くために、モットーである「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」を掲げながら、積極的な奉仕とYMCA、国際連合、その他の相応しい組織との緊密な協力関係に務め、人間の価値を高めることに努力する強力で献身的なメンバーによって、若者の成長に特に焦点を置きつつ、社会に認められた国際志向の自発的奉仕組織となること。

TOWARDS 2022

To extend Y's Men to at least 50,000 members based in 100 countries.

To strengthen Y's Men at the global level as it relates to the organization and its mission.

To offer relevant service to the YMCA and the community and, as a consequence of that,

To improve and expand the Y's Men image and identity in the community.

To improve our members' perception of YMI and our international programs in general

2022 年に向けて

最低 100 か国、50,000 人にワイズメンを増やす。

組織とその使命について国際的なレベルでワイズメンを強化する。

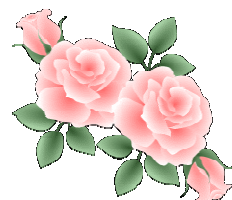
YMCA と地域社会に対して適切なサービスを提供し、その結果として、

地域社会におけるワイズメンのイメージと独自性を高め、広める。

ワイズメンズクラブ国際協会および我々の国際プログラム全般に対してのメンバーの認識を高める。

【詐欺メールにご注意下さい】

国際からの連絡によると、最近、国際やYMCAの役員・メンバーの名をかたった詐欺メールが発生している様です。詐欺メールの内容は「空港やバスルート途上で立ち往生しているので、援助して欲しい。」と言うようなもののようなです。他の内容での金品の支援要請であるかも知れませんが、このような内容のEメールが来たときは、ご注意ください。



◇ネパール大地震被災についてのお知らせ

4月25日にネパール中部で発生した大地震は大きな被害をもたらしているようです。日本YMCA同盟では、現在、関係先から詳しい情報を収集中であり、その情報をもとに近々募金活動を開始する予定だそうです。西日本区としてもこの募金活動には協力していきたく思っていますので、西日本区のみならず、その節には、お力添え、よろしくお願い致します。

なお、現在までに判明しているYMCA関連情報によると、ネパールYMCA(カトマンズ)では、職員やその孤児施設/チャイルドケアセンターの子ども達に被害はなく、YMCAの一部の設備に損傷があるが、建物自体に大きな被害はない、日本の各YMCAの日本語学校にはネパール出身の留学生が100名強在籍しているが、彼らの家族の安否や家屋の被害等についての情報を収集中とのこと。そして、日本YMCA同盟は、現在、下記の対応を検討中とのこととあります。

- ・アジア太平洋YMCA同盟、ネパールYMCAを通じた緊急支援。
- ・日本の各YMCA日本語学校に通うネパール人留学生に対して必要な支援。

西日本区理事 松本 武彦



西日本区大会の第1次登録申込は3月31日で終了しましたが、第2次登録申込は4月1日～5月15日となっています。大会登録費は22,000円となりますが、宜しくお願いいたします。

【第18回西日本区大会の登録は <http://jw2015.com/> から出来ます。】

理事通信への掲載

「クラブの周年行事」や、「クラブ事業」などを西日本区の皆さまにお知らせしたい時は理事通信をご利用下さい。毎月25日までにメール文章で、理事事務局宛お送り下さい。

理事事務局長 石津雅人 (大阪センテニアルクラブ)

E-mail: osaka@m-ishizu.com